



西

NIITSU Station

ホット
にいつホットステーション

2005. 1 vol. 646

発行所 / 新潟商工会議所
新潟県新津市本町3丁目1番7号
TEL. 0250(22)0121 FAX. 0250(25)2332
Email: n-cci@fsinet.or.jp
http://www.niitsu.or.jp/
編集発行人: 里村 進 《毎月1回発行》



ビッグスワン



朱鷺メッセ



賀正

新津市から新潟市をのぞむ(平成17年3月21日に新津市が新潟市に合併)



新年の「あいさつ」

新津商工会議所会頭

馬場 欣一

平成17年、酉年、新年明けましておめでとございます。厳しい経営環境の中、皆様方におかれましては、年頭に当たり、今年こそは災害のない安全で暮らしやすい平和な良い一年になる様に、という強い願いを持たれて新年をお迎えのことと存じます。

会員の皆様には、日頃、当商工会議所に多大なるご支援とご協力を頂き厚くお礼を申し上げます。顧みますと、昨年は色々なことが起った希有の年でありました。8月のアテネオリンピックでの日本選手の活躍は久しぶりに大変うれしい出来事でしたが、一年を通してみると、辛く悲しい出来事が多い年でありました。

まず、自然の脅威をまざまざと実感した一年でした。昨年は台風が数多く発生し、うち日本に上陸した台風は10個を数え、大変な被害を全国各地にもたらしました。台風のほか、集中豪雨の被害も多く、7月には、県内の三条、見附地域では甚大な被害に遭い、農業や地場産業にも大きなツメ跡を残しました。

また、10月23日には、忘れることが出来ない中越大地震(震度6強一部では7)が長岡市、小千谷市、十日町市、山古志村など中越地方の広い地域で発生し、多数の死者、負傷者を出すなどの大きな被害を受けました。この地震は平成7年に起きた阪神・淡路大震災に匹敵する規模で、余震活動も長期間にわたり、災害復旧活動も遅れがちであります。首都圏との大動脈である上越新幹線もようやく12月末に開通しましたが、本格的な復旧活動はこれからであります。当会議所でも、中越地震の義援金の募金活動を行い、多くの皆様方からご協力頂いた募金を、新潟県商工会議所連合会を通じて被災者に贈呈いたしました。ご協力大変有難うございました。

次に、国際問題であります。イラク問題の泥沼化、北朝鮮の核や拉致問題の膠着化など国際社会の懸念事項は先送りされました。ブッシュ米大統領の再選ともからみ、どのように推移して行くのかを見守りたいと思っております。是非とも平和裡に解決して頂くことを祈りたいものです。

さて、日本経済は成長速度を緩めながらも回復基調を維持していると思われまます。しかし、個人消費は堅調でありませんが、米国、中国向けの輸出の減速と、輸出変動に連動して生産や設備投資の鈍化もみられ、企業にも「回復の動きに「服感」も窺えます。景気は踊り場に差し掛かっており、下期には不透明感も広がっております。しかも、イラク情勢の不安定化などによる原油価格の急騰が景気の先行きの大きな懸念材料となっております。政府には、郵政民営化改革だけでなく、年金改革、税制改革の徹底と、地方や中小企業にも景気回復が実感出来る様な政策運営を強く要望いたします。

また、新潟県の経済も輸出などにより緩やかながらも着実な回復過程をたどっておりますが、先の中越地震により情勢が大きく変わりました。県内経済活動は生産、流通、消費、観光などあらゆる面で甚大な打撃を受け、人的、物的

被害とともに今後の推移が大いに心配されます。直接被害だけでも3兆円に及ぶのではないかと云われているほか、「新潟県は危険」だという風評被害の広がりも懸念されます。この影響が中越地方の経済だけにとどまらず、新潟県全体の経済に波及することがない様に、泉田新知事には指導力を発揮して頂くとともに、災害の復興に最善の努力をして頂くことを期待いたします。

次に、新津市の経済状況については、依然として厳しさが続いております。新津市内では、一部製造業を除き、一般的に低迷、低調であります。ほぼ全業種にわたって売上高や採算が悪化しており、先行きの見通しも非常に厳しい状況にあります。また、商店街も廃業や自己都合による空き店舗が目立っており、衰退化が懸念されております。さらに、今年3月には、新津市のほぼ中心部に大型スーパーの支店が開店すべく工事を進めており、既存の商店街との競合が一層激化することが心配されます。

さて、こうした厳しい状況の中で、当会議所としても着実に諸事業を展開しております。まず、会員や市民のために、金融、経営、税務、新規創業等の相談事業と、各種セミナー・講演会事業やパソコン講座、ホームページの作成等のIT化事業等に力を入れております。金融等の相談事項がございましたら当会議所の経営指導員に何なりとご相談いたします。また、新津市や県への意見要望活動も行っております。次に、会議所の地域密着活動についても積極的に対応しております。

まず、新潟薬科大学関連活動については、同大学との共催でバイオ関連講座を実施しておりますし、同大学に協力するために学生アパート不足の問題や通学の交通機関の問題を取り上げ、関係先と協議するなどして、その解決に向かって努力しております。また、「まちづくり協議会」の活動であります。今春の新津市の新潟市との合併を控え、文化会館、総合体育館の建設問題も含めた、新津地域の新しいまちづくりについても、色々議論をしております。

当会議所の各層からも意見を頂いた上で、会議所の意見として取り纏めを図り、新津市や新津新津市に対して積極的に意見・要望活動を展開して参りたいと考えております。ところで、今年の3月21日には、いよいよ新津市が近隣市町村とともに新潟市に編入合併して新津新津市が誕生します。その2年後の平成19年春には政令指定都市新潟市が誕生し、新津区が発足する予定になっております。今年が将来の明るい希望と期待に満ちたスタートの年でもあります。中越地震の影響により、県経済は一層厳しくなり、不況はしばらくは厳しいまま推移するものと思われるますが、会員企業の皆様には、「頑張り新潟」を合い言葉に、あらゆる困難にめげずに、自己責任、自助努力でもってこの難局を乗り切って頂きたいと存じます。

今年一年が、ますます充実した年となるようにご期待申し上げますとともに、「ご健勝、ご多幸をお祈り申し上げて年頭のご挨拶といたします。